大阪大学総合学術博物館第11回企画展・適塾特別展示

緒方洪庵生誕200年記念・大阪大学創立80周年プレイベント

えがかれた適塾

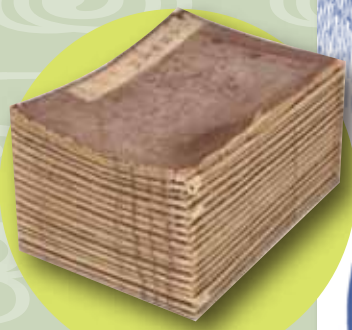
2010年4月27日(火)ー6月26日(土)

(日祝休館　ただし4月29日・5月2日・5月5日は開館)

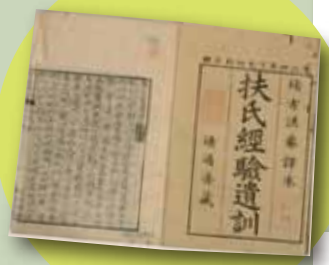
10時30分ー17時　入場無料

【会場】大阪大学総合学術博物館　待兼山修学館　【主催】大阪大学総合学術博物館・適塾記念会

【共催】大阪大学附属図書館・大学院文学研究科・外国語学部　【協力】手塚プロダクション・司馬遼太郎記念館・大阪大学21世紀懐徳堂

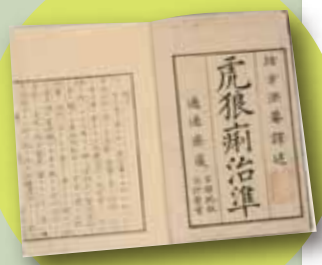


『扶氏経験遺訓』(安政4年)



(同上)

© 手塚プロダクション



『虎狼痢治準』(安政5年)

「勤仕向日記」(文久2～3年)

『病学通論』(嘉永2年)

ミュージアムレクチャー
全4回
5月　1日(土)
5月15日(土)
5月29日(土)
6月19日(土)

映画
洪庵と1000人の若ものたち
洪庵没後100年記念
木村荘十二　監督
1969年(約60分)
常時上映

MOU
Museum of Osaka University

80th ANNIVERSARY 原点へ 未来へ 2011
OSAKA UNIVERSITY

2010年は、緒方洪庵（1810-1863）の生誕200年にあたります。洪庵が先導した種痘やコレラ予防の教えは、感染症予防の先駆けとして高く評価されています。適塾は蘭学塾として、近代日本の国家形成に重要な役割を果たした福澤諭吉・大鳥圭介・長与専斎ら、医師にとどまらない多様な人材を輩出しました。適塾門下生、手塚良仙光亨（良庵）を祖先にもつ漫画家手塚治虫（1928-1989、1951年本学附属医学専門部卒業）は、適塾門人の若き日の群像を作品『陽だまりの樹』に生き生きとえがいています。

現在、適塾は懐徳堂とともに大阪大学の源流と位置づけられています。こうした認識は、小説家司馬遼太郎（1923-1996、1943年大阪外国語学校＝現在の本学外国語学部卒業）が、小説『花神』（1969年）の冒頭で、適塾を大阪大学の前身、洪庵を「校祖」であると述べたことにはじまります。

緒方洪庵と適塾は、どのように漫画や小説、映画などにえがかれ、歴史のなかに位置づけられてきたのでしょうか。本展覧会は、適塾記念会と大阪大学総合学術博物館が共同で開催し、この節目に適塾という歴史的存在の<えがかれ方>をみなさんとともにたどります。2011年の大阪大学創立80周年記念を前にして、わたしたちの生きている<歴史的現在>を考えるこころみです。

「緒方洪庵肖像」（明治34年）

手塚治虫『陽だまりの樹』より　©手塚プロダクション

「緒方洪庵肖像」（嘉永3年）レプリカ

「癸丑年中日次記」（嘉永6年）

「姓名録」（複製）

「ヅーフ辞書」（天保4年）

「勤仕向日記」（文久2～3年）

ミュージアムレクチャー

【第23回】5月1日（土）　14：00～15：30
司馬遼太郎と適塾のあった大坂
上村洋行（司馬遼太郎記念館館長）
イ号館イ講堂　定員300名

【第24回】5月15日（土）　13：30～15：00
『陽だまりの樹』と蘭方医手塚良仙
深瀬泰旦（順天堂大学医学部医史学研究室・日本医史学会理事）
待兼山修学館　3階セミナー室　定員60名

【第25回】5月29日（土）　13：30～15：00
近世大坂の学問と適塾
橋本孝成（適塾記念会資料専門員）
待兼山修学館　3階セミナー室　定員60名

【第26回】6月19日（土）　13：30～15：00
適塾と都市大坂の医療環境
海原亮（住友史料館研究員）
待兼山修学館　3階セミナー室　定員60名

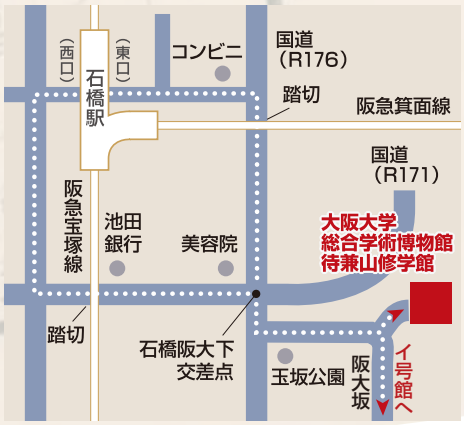
聴講自由、30分前より受付開始。

映画上映

洪庵と1000人の若ものたち

洪庵没後100年記念、木村荘十二監督、1969年
約60分　於セミナー室

会期中待兼山修学館3階セミナー室で常時上映します。
（但しミュージアムレクチャー等開講中は除く）



大阪大学総合学術博物館　待兼山修学館
〒560-0043 大阪府豊中市待兼山町1-20
Tel 06-6850-6284

阪急宝塚線「石橋駅」下車、徒歩10分
※公共交通機関をご利用ください。
また、当館はバリアフリーですので、
障害者向駐車場スペースをご活用ください。

http://www.museum.osaka-u.ac.jp/

MOU Museum of Osaka University